

特許情報

- ◎ [平成17年度中に出国特許庁に登録された特許](#)
- ◎ [平成17年度中（16年度を一部含む）に、特許法第64条（出願日から1年半経過）及び第64条の2（出願人からの出願公開の請求）により公開となった特許](#)

◎ 平成17年度中に出国特許庁に登録された特許

特許の名称	積雪粒度判別用篩				
出願区分	出願国名	出願年月日	出願番号	登録年月日	登録番号
単独出願	日本	2003/3/10	2003-63758	2005/6/3	3682537
特許の概要	平面上に並べた網目の異なる複数の網と、各々を仕切るための枠からなり、携帯に便利な大きさで、なおかつ各々の網が仕切り枠ごと自在に脱着可能となっている、手間と時間をかけずに積雪粒度の判別ができる積雪粒度判別用篩。				

特許の名称	除湿システム及び該除湿システムを備えた家屋				
出願区分	出願国名	出願年月日	出願番号	登録年月日	登録番号
単独出願	日本	2002/5/17	2002-143453	2005/10/7	3726110
特許の概要	空気中の水分を選択的に除去できるセルロース系透過膜などの除湿膜を介して、一方の面に除湿すべき空気を供給し、もう一方の面は前記除湿膜の一方の面に比べて減圧された状態に保たれ、除湿すべき空気に含まれる水分が除湿膜を通過することで、空気を除湿・乾燥させ、なおかつ、吸着剤も備えることにより除湿機能が停止した場合であっても急激な湿度の上昇を防止できるシステム、並びにこのシステムを床下等の除湿すべき場所に設置した家屋。				

特許の名称	刈払機				
出願区分	出願国名	出願年月日	出願番号	登録年月日	登録番号
共同出願	日本	2002/4/24	2002-122596	2005/10/7	3726113
特許の概要	スロットル操作と刈刃の空転を抑える制動装置が一つのレバー操作で連動する機構を有する刈払機。すなわち、スロットルレバーを握ることによって制動装置の解除後にスロットル操作が可能になり、レバーを放すと同時に制動装置が働き刈刃の空転を防止する。この機構により制動装置解除の操作力が小さくなり疲労感が減少すると同時に、惰性回転を防止できることから作業の安全性も向上できる。				

特許の名称	植林用苗木とその生産方法および樹木における菌根菌の接種方法				
出願区分	出願国名	出願年月日	出願番号	登録年月日	登録番号
単独出願	日本	2001/8/15	2001-246544	2005/10/21	3731043
特許の概要	マツ科・ブナ科などの樹木と菌根菌との共生において、より価値の高い菌と共生させるための技術。菌根が形成されていない実生苗に、菌根菌のきのこを完熟の上腐敗させて有害な菌を招く易利用成分を分解することで野外の環境でも感染力を維持するようにした孢子懸濁液を用い、ゲル化剤などで根に効率的に付着させるようにして、菌根菌を接種した植林用苗木を生産する。植林地の条件に適した菌と選択的に共生させることが可能になる上、菌根性食用きのこを用いればきのこ生産技術として利用することも可能となる。				

特許の名称	動揺計測装置				
出願区分	出願国名	出願年月日	出願番号	登録年月日	登録番号
単独出願	日本	2002/12/4	2002-351957	2005/11/4	3735718
特許の概要	台風や低気圧に伴う強風やビル風の影響を受ける樹木等の揺れ回数を計測する装置。樹木の揺れはその揺れ方向が不特定であるという特殊性があるため、リードスイッチ及びマグネット付き振り子をそれぞれ２個内蔵し、振り子の取り付け軸を移動可能とすることによって、揺れ角度と揺れ方向の測定を可能とした。				

特許の名称	光増感性DNA活性阻害剤および生物活性阻害剤				
出願区分	出願国名	出願年月日	出願番号	登録年月日	登録番号
共同出願	日本	2001/9/11	2001-275110	2005/11/11	3739685
特許の概要	光（UV）を照射することによってDNA 活性阻害作用及び抗微生物活性が生じ又は増強する性質を有するイグサ由来の化合物「デヒドロエフューソール」を利用したDNAの複製・転写などのDNA 活性阻害剤、並びにグラム陽性バクテリアである枯草菌・黄色ブドウ球菌、真菌であるカンジダ・アルビカンスなどを含む生物に対する生物活性阻害剤。				

特許の名称	自動撮影装置				
出願区分	出願国名	出願年月日	出願番号	登録年月日	登録番号
単独出願	日本	2003/3/10	2003-63088	2005/11/18	3740536
特許の概要	センサーからの感知信号に基づいてカメラを撮影可能又は撮影抑制状態に設定し、重複撮影やセンサー誤作動による撮影を防止するようにした自動撮影装置。				

特許の名称	木質板およびその製法				
出願区分	出願国名	出願年月日	出願番号	登録年月日	登録番号
単独出願	ドイツ	1999/11/29	19957329.8	2005/12/22	19957329
特許の概要	寸法安定性のためにアセチル化木材を原料として木質ボードを製造するが、アセチル化によって水溶性接着剤の接着力が低下する。この接着力の低下によりアセチル化木質ボードの強度も低下する。本特許では、アセチル化木材をオゾン処理することにより接着力の低下を改善し、アセチル化木質ボードの強度の向上を目的とする。さらに接着力の向上により寸法安定性もいっそう向上する。				

特許の名称	パーティクルボード、ファイバーボード類からの再生エレメントを利用した木質系ボードの製造方法				
出願区分	出願国名	出願年月日	出願番号	登録年月日	登録番号
単独出願	日本	2002/6/17	2002-175517	2006/1/20	3760231
特許の概要	建築廃材として大量に発生する木質系ボード類をクラッシャーにより適度な大きさに一次破碎した後、スティーミング処理により接着剤を加水分解してエレメントを分離させると同時に、製造時に受けた圧縮変形をスプリングバックさせ、木質ボード類をリサイクルする方法。				

条の２（出願人からの出願公開の請求）により公開となった特許

特許の名称	外生菌根菌の大量固体培養方法				
出願区分	出願国名	出願年月日	出願番号	公開年月日	公開番号
共同出願	日本	2003/7/10	2003-195322	2005/2/3	2005-27546
特許の概要	マツ科、ブナ科、カバノキ科などの外生菌根性樹木の成長促進、乾燥・凍害耐性、耐病原性を向上させる外生菌根菌を、数十リットル以上の培養槽を用いて、短期間で安定かつ大量に、しかも均質に培養することが可能な固体培養方法。				

特許の名称	DNA活性阻害方法および生物活性抑制方法				
出願区分	出願国名	出願年月日	出願番号	公開年月日	公開番号
単独出願	日本	2003/7/23	2003-277990	2005/2/17	2005-41816
特許の概要	ミカン科植物由来のフラノキノリン化合物であるコクサギニン及びハプロピン、並びにピラノキノリン化合物であるフリンダーシンの各々もしくはその混合物に光を照射することによるグラム陽性バクテリアである黄色ブドウ球菌、真菌であるカンジダ・アルビカンスなどの生物に対する生物活性抑制方法、及びコクサギニンもしくはハプロピンのいずれか又は双方に光を照射することによるDNAの複製・転写などのDNA活性阻害方法。				

特許の名称	木材腐朽性食用きのこ子実体形成促進物質、その抽出方法および木材腐朽性食用きのこの菌床栽培方法				
出願区分	出願国名	出願年月日	出願番号	公開年月日	公開番号
単独出願	日本	2003/10/17	2003-357580	2005/5/12	2005-117981
特許の概要	エノキタケ、シイタケ、ナメコなどの木材腐朽性食用きのこを菌床栽培した後に大量発生する廃菌床を、有効に再利用する方法として、正常株の木材腐朽性食用きのこを菌床栽培した後の廃菌床をメタノールで抽出したあと、熱水抽出して木材腐朽性食用きのこの子実体形成促進物質を得る方法。また、得られた子実体形成促進物質を、菌床に添加して劣化を回避するとともに、きのこの生産性を向上させることを特徴とする木材腐朽性きのこの菌床栽培方法。				

特許の名称	バイオマスを原料とする糖類および固形燃料の製造方法				
出願区分	出願国名	出願年月日	出願番号	公開年月日	公開番号
共同出願	日本	2004/1/20	2004-11560	2005/8/4	2005-206468
特許の概要	林地残材、建築廃材等の廃棄物系バイオマスを原料として、糖類及び固形燃料を高効率かつ低エネルギーで製造する方法。100～250℃に加熱した高圧水にバイオマスを懸濁後、さらにバイオマスを加えて濃度を高くし、加熱・加圧・加水分解などの工程を経て糖類を多量に含んだ水溶液を生成する。また、加水分解処理後、水に溶けずに残った成分を回収・脱水して固形燃料を製造する。				

特許の名称	擁壁構造と擁壁構成材				
出願区分	出願国名	出願年月日	出願番号	公開年月日	公開番号
単独出願	日本	2004/3/10	2004-66631	2005/9/22	2005-256328
特許の概要	土留めのための擁壁を設置する場合、従来は曲線部や基礎地盤の縦断勾配が一定でない箇所では、現場での加工を余儀なくされ手間がかかった。本擁壁は、横材の両端の加工、擁壁フレーム下部に設置アジャスターを設けることなどによって、設置				

	半径が小さな箇所や縦断勾配に変化のある箇所においても、現場での加工を要しないような構造としたものである。
--	--

特許の名称	新規微生物及びその利用				
出願区分	出願国名	出願年月日	出願番号	公開年月日	公開番号
共同出願	日本	2004/4/23	2004-128090	2005/11/4	2005-304421
特許の概要	害虫・ダニ等の有害生物を防除する方法として、化学薬品の他に、昆虫病原性糸状菌などの微生物を利用した殺虫剤、殺ダニ剤等が知られている。これまでに見出されている昆虫病原性糸状菌の効力は、条件によっては必ずしも充分でない場合があった。本発明は、糸状菌であるボーベリア・バッシアナ種に属する新たな菌株が、優れた殺虫・殺ダニ効果を持つことを見出し、これらを有効成分とした有害生物防除組成物を提供するものである。				

特許の名称	積雪移動量測定装置及びその方法				
出願区分	出願国名	出願年月日	出願番号	公開年月日	公開番号
単独出願	日本	2004/4/27	2004-131547	2005/11/10	2005-315637
特許の概要	積雪期間の積雪移動量を、電源等の動力源を要せず、簡単な構成で精度良く測定することができる測定装置。本装置の構成は、設置斜面に固定するレール状の誘導部材と、積雪の移動とともに移動する駒部材からなり、駒部材は、降雪前や融雪後などの無積雪時に、雨風の外力を受けても磁石により移動しないようになっている。電源不要で持ち運びも容易なため、奥山などあらゆる場所に設置可能である。				

特許の名称	飛砂捕捉装置				
出願区分	出願国名	出願年月日	出願番号	公開年月日	公開番号
単独出願	日本	2004/4/23	2004-128070	2005/11/4	2005-308621
特許の概要	海岸の飛砂発生防止、内陸への飛砂の進入を防止するため、海岸林が育成されているが、この育成の基礎として、飛砂量の測定が必要となる。このため、飛砂を捕捉する装置が使用されているが、従来の形式だと、装置周りに生じる風食作用により窪みが生じ正確な捕捉が困難であった。本装置は、飛砂導入部の下端に地表面と同じレベルを保つことができる風食防止板を備え、正確な飛砂捕捉を可能としたものである。				

特許の名称	改質焼成炭化物とこれによる建造物室内環境改善方法、空間環境改善用部材および機能性木質系材				
出願区分	出願国名	出願年月日	出願番号	公開年月日	公開番号
共同出願	日本	2004/5/25	2004-154207	2005/12/8	2005-335978
特許の概要	木炭、竹炭などの炭化物が本来有する調湿機能、防腐機能、防虫機能などに加えて、二価フェノール体又は三価フェノール体を含浸させて室内に置くことにより、建造物室内の環境を改善する方法と、木質系材表面に炭化物と5%タンニン水溶液との混合物（重量比1：5）を塗布・乾燥することにより、安定な機能層を形成する機能性木質系材を提供するものである。				

特許の名称	森林評価方法及び生理反応計測方法				
出願区分	出願国名	出願年月日	出願番号	公開年月日	公開番号
共同出願	日本	2004/10/18	2004-303574	2005/4/21	2005-103309

特許の概要	森林や森林浴、森林浴の効果について、個々の報告・提案・取り組みは従来からあったが、森林浴に適した森林をどのような基準で評価すべきであるかといった着想や評価基準はなかった。本発明は、被験者を２グループ（森林部・都市部）に分け、翌日は逆の試験地に行かせることによって実施した。森林部と都市部で所定時間、歩いたり、座ったりする前後において、脳（前頭前野）活動、唾液中コルチゾール（ストレスホルモン）濃度、唾液中免疫グロブリンA濃度、（副）交感神経活動、血圧などを測定し、森林浴に適した森林を客観的かつ医学的に評価する方法である。
-------	--

登録・公開特許情報は森林総合研究所ＨＰで公開しています。

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/index-j.html>

詳細情報は、独立行政法人 工業所有権情報・研修館

特許電子図書館（ＩＰＤＬ）をご覧ください。

<http://www.ipdl.ncipi.go.jp/homepg.ipdl>

[\[巻頭言\]](#) [\[500号\]](#) [\[報告\]](#) [\[おしらせ\]](#) [\[特許情報\]](#)

[\[所報トップページへ\]](#)